

会 議 録

会議の名称	第4回茨木市みどりの施策推進委員会
開催日時	令和7年10月6日（月） （午前・ <u>午後</u> ） 2時00分 開会 （午前・ <u>午後</u> ） 6時00分 閉会
開催場所	市役所本館3階 防災会議室
委員長	加我 宏之（大阪公立大学大学院 農学研究科 教授）
出席者	加我 宏之（大阪公立大学大学院 農学研究科 教授） 井下 晃介（公募市民） 浅井 咲嬉（公募市民） 福田 知弘（大阪大学大学院 教授） 石原 凌河（龍谷大学 准教授） 都解 浩一郎（大阪府森林組合） 高原 富佐子（茨木バラとカシの会） 古川 美奈子（茨木市こども会 育成連絡協議会）【8人】
欠席者	無し
事務局職員	建設部長、都市整備部長、公園緑地課長、公園緑地課参事、公園緑地課職員（2名）、建設管理課、北部整備推進課、都市政策課、農林課、環境政策課（2名）、委託事業者（3名）【15人】
傍聴者	【1人】
開催形態	<u>公開</u> ／非公開
議題 （案件）	(1)第3回委員会のふりかえり (2)計画素案について
配布資料	資料1 茨木市みどりの施策推進委員会配席図 資料2 茨木市みどりの施策推進委員会委員名簿 資料3 改定スケジュール 資料4 第3回委員会までの意見とその対応 資料5 茨木市緑の基本計画改定版 素案 参考資料1 第3回茨木市みどりの施策推進委員会会議録 参考資料2 市内公園一覧 参考資料3 コラム項目案 参考資料4 関係課一覧

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
石原委員	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員紹介</p> <p>3. 会議の公開及び会議録の公開について 本日は、半数以上の委員が出席しているため、みどりの施策推進委員会規則第6条第2項の規定により、会議は成立している。</p> <p>4. 議事 下記の議事について、事務局から資料を説明した後、議事全体に対する議論を実施した。</p> <p>(1) 第3回委員会のふりかえり (2) 計画素案について</p> <p>充実した内容になったが、計画素案 37 頁の基本方針の図を、もう少し上手く表現できないだろうか。3つの基本方針が相互に関連するもので、ニュアンス的には利活用のためのまちづくりの促進だと思うが、その辺りを個別で行動を示すか表現を変えるのか、もう少し工夫の余地があるのではないか。</p> <p>また、「具体施策（４）地域コミュニティや様々な都市活動の場としての緑の活用」（以下、「具体施策（４）緑の活用」という）の、景観分野と自然環境保全分野に関しては、活用するというニュアンスがあまり表現されておらず、ご検討いただければと思う。</p> <p>56 頁 以降に、地域別に重点的な取組みについて、地図に具体施策を示されているが、「具体施策（３）緑化事業の推進」と、「具体施策（４）緑の活用」に関する施策については載っていない。これは、全体にまつわる話だと思うので、おそらく地域別に載っていないのだと思うが、具体的施策が反映されていないということになりかねないかと思った。地域別の地図の中に写真を入れると、イメージを掴みやすくなるのではないか。</p> <p>評価指標には、保全創出の指標も入れていただきたい。</p>
	<p>加我委員長</p> <p>私も、「基本方針２みどりの活用」の展開が気になった。地域別の重点的な取組みに、ピンク色で示されている「具体施策（４）緑の活用」の内容が出てこないが、入れ始めると全部ピンク色になってしまうと思う。石原先生に仰っていただいたように写真を使い、その写真から</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	健康づくりや教育など緑の活用の姿を示していくことができないか。 この地域ならこれが特徴的な取組みだという緑の活用を表現することで、各地域の特徴も出していけるのではないか。
事務局 (委託事業者)	地域別の取組については、「具体施策（４）緑の活用」の内容を、写真を用いて示し、地域ごとの特徴を出せるように考えたい。
加我委員長	具体施策は、市域全域で取組むことですが、地域別にどこでどのようなことが取組まれるかを落とし込んでみると、「具体施策（４）緑の活用」がなくなったと捉えられないように表現を考えていただきたい。 10 頁の公園・緑地の状況では、計画決定面積が 108.76ha だが、開設している分は 74.38ha しかない。この差の約 30ha 分を、今後 10 年間でどれだけ解消できるのか、縮小していくこともあろうかと思うが、数値的な目標を掲げる必要はないか。
事務局 (公園緑地課)	目標値を掲げるとその達成に追われることになるため、数字で表すとなると少し厳しい。
加我委員長	確かに量的に拡大すると緑との接触頻度は高まるが、本改定では、量的といよりは、質的に緑とのコンタクトを広げ深めていくということを第一目標に掲げたい。
福田委員	緑にかかる活動の現況については、自治会のような地縁コミュニティであれば嫌でも必要なものなので続いていくと思うが、テーマ型の活動は引継ぐ人の問題があると思う。大体同じ指導者がずっとされている。参加メンバーの高齢化もあるが、引継ぎの問題もあり、担い手不足についてもっと具体的に書いた方がよいのではないか。 緑の将来像は、緑の量をどう増やすかというようにしか見えないので、活動や担い手が将来像の中にある方がよいのではないか。 基本方針の図は、ネットワークやシステムのレイヤーが参考になるのではないか。ベースのレイヤーがハードウェアでインフラ的な今回でいうと緑の量のような話で、最後のレイヤーがプレイヤーやサービスになる。今回は、活用の担い手の育成も含めたミドルレイヤーがあるから、十分なサービスが提供できるという話になる。レイヤー構造に置き換えてもよいのではないか。 具体施策には、改定の視点の緑と緑、緑と人、人と人が入っているが、改定の視点 4 についての記述がないのが気になった。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
加我委員長	<p>緑にかかる活動の現況は、参加メンバーの高齢化に加えて、活動の継承もしくは新たなグループの促進ということで、団体を増やしていくことも課題である。</p> <p>基本方針の図は、植物を扱うから植物にさせてほしいという気持ちはある。</p>
事務局 (委託事業者)	改定前の計画にも使われている木の表現と考え方が、非常に特徴的なので、もう少し分かりにくい部分を整理したい。
加我委員長	基本方針の図は工夫していただきたい。将来像では、シーンや担い手の姿見えることが大事である。
都解委員	第2回か第3回で、地域ごとに課題を整理してはという話があった流れの中で、32頁の緑の課題はテーマで課題が整理されており、地域ごとの課題が見えづらくなっている。16頁からの地域ごとの特徴と課題は、書いてある内容自体に違和感はないが、課題と特性と一緒に箇条書きにされており、この地域はこういう課題があるとうことが、ぱっと読んだ感じでは分かりづらい。
事務局 (委託事業者)	各地域の特徴と課題を文章化したものを、各地域の箇条書きの前に入れる構成にさせていただきたい。
加我委員長	32頁は、16頁の各地域の内容も総合的に捉えた茨木市全体の課題となるので、市全体の緑の課題だと分かる見せ方にしていただきたい。地域別の特徴と課題があり、市全体の話があり、地域別の取組がある。今回、地域別に重点的取組を整理できたことは、大きなことだと思う。
高原委員	竜王山周辺・安威川上流が、国の生物多様性保全上重要な里地里山と書かれているが、これは国ではなく大阪府ではないか。大阪府の生物多様性ホットスポットにも選定されている。
加我委員長	環境省の生物多様性保全上重要な里地里山に選定されているが、大阪府の生物多様性ホットスポットでもあるので、そのことも書き加えていただきたい。
井下委員	具体的な施策それぞれのスケジュールは、決まっているのか。いつど

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	のタイミングでされるのか気になるし、わかると共創もしやすいのではないか。
事務局 (委託事業者)	今まで実施されてきたものを継続するものもあれば。これから新たに取り組むものもある。
事務局 (公園緑地課)	各課でそれぞれ取組んでいく形になり、その状況を中間見直しのタイミングでお示しすることになる。
加我委員長	場合によっては、短中長期のスケジュールを示す計画もあるが、今回は、 1年ごとの進捗確認あるいは5年後の中間見直しのタイミングで、手つかずのことも含めてチェックをしていきたいと思いますということである。
浅井委員	具体施策のところは写真を入れると思うが、将来像図にも、人と緑の関係性がわかる活動の写真を、入れていただけると分かりやすい。
事務局 (公園緑地課)	共創を打ち出しているので、将来像図に、活動の写真かイラストを追加していきたい。
古川委員	身近な事では、活動団体の高齢化に本当に直面している。交代する人がおらず、子供会や自治会活動でしていたことができなくなっている。ゲートボールをされていた高齢者が、ボールがよく転がるように一生懸命草刈りをされていたが、その方もおられなくなり、草がぼうぼうで、グラウンドが荒れてきている。若園グラウンドで子供会のスポーツ大会が行われるが、先日の打合せの時に、グラウンドに草が生えすぎて、ボールがどの方向に転がるか予測不能で危ないという意見もあった。高齢化は止めることはできず、新しい力も入ってこない。子供会も名ばかりで、もう役員は全員高齢者で、交代してくれる方もおられず、この冊子を読ませていただいても、将来像が私にはちょっと見えてこない。先日、いこクルの公園を通りかかった際、ビバホームの方が草刈りをされていたが、そういう協力してくれる団体を増やすなど何か方法をとっていかなければ、公園を維持していくことは大変なことである。
事務局	いこクルの公園は、事業者が管理をしている。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
(公園緑地課)	
加我委員長	<p>事業者が開発後も維持管理を引き受けるというケースも増えてきている。茨木市ではどうか分からないが、保険会社や車のディーラーの方々が道路清掃をされていたりする。</p> <p>先ほどは、自治会など地縁コミュニティの方が活発だというような話もあったが、古川委員がおっしゃる通り高齢化の課題はある。緑にかかる活動では、地縁とテーマ縁に分けて表現してもよいのではないかな。</p>
石原委員	<p>市民アンケートの結果については、せっかくなので付録等で他の回答結果も載せた方がよいのではないかな。今日の資料では、設問の文章が全て載っていない箇所があったので修正していただきたい。満足度に関する回答の見方を教えて欲しい。令和6年が21.8%とあるが、満足またはやや満足と回答した人の割合を合計すると23.9%ではないかな。</p>
事務局 (委託事業者)	<p>掲載されているグラフが誤っておりました。すみません、失礼しました。</p>
事務局 (公園緑地課)	<p>計画本編に載せていないアンケート結果は、資料編に入れたと思っている。</p>
加我委員長	<p>先ほど石原委員から、改定の視点4が具体的取組みにも地域別の取組にも反映されておらず、どこにどう反映されてくるのかといったご意見をいただいていたが、この件についてはどう考えるか。</p>
事務局 (委託事業者)	<p>改定の視点4は、重点施策で、地域別に詳細に見ていくという部分と対応している。このことがわかる表現を改定の視点に追加したい。</p>
加我委員長	<p>参考資料2 市内公園一覧は、運動公園等は含まれておらず、公園緑地課で所管されている公園がこれだけあるということである。</p> <p>参考資料4 関係課一覧では、主な関連課の一覧と、それぞれの課がどの具体施策に関連しているかを示していただいている。</p>
事務局 (公園緑地課)	<p>パブリックコメントのタイミングにあわせて、関連課だけでなく全庁内にもヒアリングをする予定である。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
加我委員長	参考資料 3 コラム項目案のコラムは、パブリックコメントまでに追加される予定なのか。
事務局 (公園緑地課)	その予定である。
古川委員	ダムパークいばきたは、交通手段がなかなかない。阪急か JR の駅からバスが出ていると聞いた。いつどこからバスが出ているのかの情報を、載せていただけると嬉しい。高齢者の方も行きやすくなるのではないかな。
事務局 (北部整備推進課)	JR 茨木駅からダムパークいばきたまでのピストンバスが出ている。阪急茨木市駅からは、路線バスが出ている。バスの時刻表は変更される場合があるため、ダムパークいばきたのホームページで時刻表を案内している。
事務局 (公園緑地課)	コラムには、ダムパークいばきたのホームページを紹介させていただくこととしたい。
福田委員	47 頁の情報発信の取組に書かれている、情報例の種類分けがばらついている。広報茨木は、市民によく見られていると思うが、緑の特集等は組まれているのか。
事務局 (公園緑地課)	公園に関する特集が組まれることは多い。広報は、若い人にはあまり見られていないので、SNS も使って情報を広げていきたい。
加我委員長	<p>広報いばらきも活用いただければと思う。</p> <p>それでは、本日いただきましたご意見を踏まえ、事務局で検討いただき、次に進めていっていただきたいと思います。次回は、パブリックコメントのご意見も踏まえた最終案を検討していきますので、どうぞご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>